

大野県知事様

県内の公立病院をまもるために国に対して意見書を提出するよう求める要望書

2025 年 11 月 14 日

週刊現代 7 月 15 日号で「この赤字病院はさげなさい」というセンセーショナルな報道がありました。全国的に自治体病院の 9 割が赤字、病床数 200 床以上の自治体病院に限ると 95%が赤字となっています。特に看護師などスタッフを多く配置する必要があり、診療材料や薬品なども多く使用する急性期病院でその傾向がより強くなっています。また、病院の役割別にみた場合でも災害医療の中心を担う災害拠点病院の 94%が赤字となっています。この全国国公立病院「赤字ランキング」で上位にランクされている病院はいずれも地域の中核・基幹病院としての役割を担う大病院となっています。

赤字の主な要因は人件費や診療材料・薬剤、光熱水費の高騰に見合う診療報酬の引き上げが行われていないことが最も大きなものとなっていますが、国・県において広域の医療をささえる抜本的な財政支援がもとめられています。

県南部では越谷市立病院・草加市立病院が実際に 10 億円を超える赤字を補てんするための補正予算を今年度組まざるを得ませんでした。また、広域で運営している中川の郷についても同様にこのままでは事業をつづけられない状況に陥っています。

埼玉県におきましては下記のように早急に対策を講じるとともに、国に対し意見書を提出していただきますようお願いいたします。

記

1. 県民の命と健康を広域で守っている自治体病院に対して早急に財政補助を行ってください。
2. 診療報酬の改定は、人件費や物価上昇分に見合うものとし、24 時間救急など不採算部門になっている医療機関に対して、特別の支援制度を国・県でつくってください。
3. 病院事業は患者に消費税を転嫁できません。輸出企業と同様に消費税の控除を認めるよう国に強く要望してください。
4. 重度の医療的ケアを必要としている障害者の入所施設「中川の郷」が継続して今までの事業を行えるよう国・県で財政支援を行ってください。

以上

日本共産党東部南地区委員会	委員長	苗村京子
日本共産党越谷市議団	団長	工藤秀二
日本共産党八潮市議団	団長	池谷正
日本共産党三郷市議団	団長	工藤智加子
日本共産党吉川市議団	団長	雪田きよみ
日本共産党松伏町議団	団長	吉田俊一
日本共産党草加市議会議員		平野厚子